【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【公開番号】特開2016-22033(P2016-22033A)
【公開日】平成28年2月8日(2016.2.8)
【年通号数】公開・登録公報2016-009
【出願番号】特願2014-146498(P2014-146498)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０８Ｇ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月15日(2017.12.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示を行い、可変表示の表示結果としてあらかじめ定められた特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、
操作手段と、
前記操作手段に設けられ、駆動により温度が変化する素子と、
前記素子を駆動する制御手段と、
未だ開始条件が成立していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、
前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶を保留表示として表示する保留表示手段と、
可変表示の表示結果を前記特定表示結果とするか否かを決定する事前決定手段と、
前記事前決定手段の決定前に、可変表示の表示結果が前記特定表示結果となるか否かを判定する特定判定手段と、を備え、
保留表示の表示態様は、通常態様と、該通常態様とは異なる態様である特殊態様と、該通常態様および該特殊態様とは異なる態様である特別態様とを含み、
前記特定判定手段の判定結果に応じて、異なる割合で該特定判定手段の判定対象となった保留記憶に対応する保留表示を特別態様で表示する保留予告演出を実行可能な演出実行手段をさらに備え、
前記演出実行手段は、複数のタイミングで保留表示を特別態様に変化させて表示することが可能であり、
保留表示の表示態様が変化するか否かを示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段をさらに備え、
前記示唆演出実行手段は、保留表示が特殊態様で表示されているときには、保留表示が特殊態様で表示されていないときに比べて高い頻度で示唆演出を実行するものであり、
前記素子は、電源投入時に駆動されることを特徴とする
遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
（手段３－１）本発明による遊技機は、可変表示（例えば、第１特別図柄や第２特別図柄、演出図柄の変動表示）を行い、可変表示の表示結果としてあらかじめ定められた特定表示結果（例えば、大当り図柄）が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態）に制御する遊技機であって、
操作手段と、
前記操作手段に設けられ、駆動により温度が変化する素子と、
前記素子を駆動する制御手段と、
未だ開始条件が成立していない可変表示について、所定の上限数（例えば、４）を限度に、数値データ抽出手段が抽出した数値データを保留記憶（例えば、第１保留記憶や第２保留記憶）として記憶可能な保留記憶手段（例えば、第１保留記憶バッファや第２保留記憶バッファ）と、
前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶を保留表示として表示する保留表示手段（例えば、合算保留記憶表示部１８ｃ）と、
可変表示の表示結果を前記特定表示結果とするか否かを決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０がステップＳ６１，Ｓ６２，Ｓ７３を実行する部分）と、
前記事前決定手段の決定前に、可変表示の表示結果が前記特定表示結果となるか否かを判定する特定判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０がステップＳ１２１７，Ｓ１２２８を実行する部分）とを備え、
保留表示の表示態様は、通常態様（本例では「○」：図５５（Ａ）参照）と、該通常態様とは異なる態様である特殊態様（本例では「○」の外側に６本の線が描かれている：図５６（Ｂ）参照）と、該通常態様および該特殊態様とは異なる態様である特別態様（本例では「○」内に「×」が含まれる：図５５（Ｂ１）参照、「○」内に「×」が２つ含まれる：図５５（Ｂ２）参照）とを含み、
前記特定判定手段の判定結果に応じて、異なる割合で該特定判定手段の判定対象となった保留記憶に対応する保留表示を特別態様で表示する保留予告演出（例えば、先読み演出）を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６７１０６，Ｓ６７１１４，Ｓ１８１３，Ｓ１８４５等を実行する部分。図４２（Ｂ）参照）をさらに備え、
前記演出実行手段は、複数のタイミング（例えば、始動入賞のタイミングや、任意のシフトタイミング、他の任意のタイミングなど）で保留表示を特別態様に変化させて表示することが可能であり、
保留表示の表示態様が変化するか否かを示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ６７１１０，Ｓ６７１１５，Ｓ１８０６，Ｓ１８１３，Ｓ１８４５等を実行する部分）をさらに備え、
前記示唆演出実行手段は、保留表示が特殊態様で表示されているときには、保留表示が特殊態様で表示されていないときに比べて高い頻度で示唆演出を実行する（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００がステップＳ１８０６等を実行する部分。図４８（Ａ），（Ｂ）参照）ものであり、
前記素子は、電源投入時に駆動されることを特徴とする。
そのような構成により、複数のタイミングで保留表示を特別態様に変化させて表示することが可能であるため、保留表示の表示態様を変化させるタイミングに多様性を持たせることができるとともに、保留表示が特殊態様で表示されたときには、高い頻度で示唆演出が実行されるため、期待感を高めることでき、遊技興趣を向上させることができる。